【様式第１号】

様式第１号（第１０条関係）

こ　ど　も　園　入　園　申　込　書

令和　　年　　月　　日

京　丹　波　町　長　様

申請者（保護者）
住　　所　〒
京丹波町
氏　　名
電話番号　　（　　）

受付印

入園のてびきを確認、同意の上、こども園の入園を次のとおり申し込みます。

入園児童	ふりがな 氏　　名	生　年　月　日	性　別	障害者手帳等の有無
		令和　　年　　月　　日	男　・　女	有　・　無
入園希望園	第１希望　＿＿＿＿＿こども園（希望理由）			
	第２希望　＿＿＿＿＿こども園（希望理由）			
	第３希望　＿＿＿＿＿こども園（希望理由）			
保育希望期間	令和　　年　　月　　日　から　令和　　年　　月　　日まで			
保育を希望する曜日・時間	利用曜日	利用時間　※土曜日除く		
	①月～金曜日　②月～土曜日	午前　　時　　分～午後　　時　　分まで		
保育の実施を必要とする理由	両親等：（　）（　）			
第３子以降利用料無料化適用の有無	※令和９年４月１日現在において１８歳未満の子どもの中で、第３子以降の児童の場合は「有」に、第１子及び第２子の児童の場合は「無」に〇をつけてください。 有（第３子以降の児童）　・　無（第１子及び第２子の児童）			
備　　考				

＊入園希望こども園は、第１希望、第２希望および第３希望まで必ず記入してください。
＊第３子以降利用料無料化に関する児童の年齢の範囲は１８歳未満であり、当該（入園）年度の４月１日現在の年齢で適用の有無を判断し、いずれかに〇印を付けてください。
＊「障害者手帳等の有無」欄は、障害者手帳（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳）の交付を受けている方、特別児童扶養手当の支給対象である方が対象です。「有」に〇印をつけてください。
＊「障害者手帳等の有無」欄で「有」の場合は、障害者手帳等の写し（コピー）を添付してください。

＊町記載欄（申込者は記入しないでください。）

保育の実施の要否	保育実施期間	保育の実施基準番号
要・否 （理由） □１号　□２号　□３号 令和　　年　　月　　日承諾	自　令和　　年　　月　　日 至　令和　　年　　月　　日	両親：（　　）（　　）
	入園施設	
	備　　考	

記　入　上　の　注　意

この入園申込書は、保護者が次の点に注意し記入のうえ、京丹波町教育委員会学校教育課または各こども園に提出してください。なお、同一家庭から２人以上の児童が同時に入園を申し込む場合は、児童１人につき１枚の用紙に記入し、提出してください。

１　「入園希望園」の欄は、希望する順位に従い、こども園名を記入し、そのこども園を希望する理由を記入してください。（例）「自宅（職場）から近いため」など

２　「保育希望期間」には、毎年４月１日を基準に翌年３月３１日までの１年間を上限とし、下記３の保育の実施を必要とする理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。

３　「保育の実施を必要とする理由」の欄については、（　）内に両親（両親と別居している場合には、現在児童の面倒を実際にみている者）が下の表の（１）から（９）までに掲げるいずれの場合に該当するかを判断し、その該当する番号をすべて記入するとともに、具体的な状況についても同欄に記入してください（例えば、（１）に該当する場合は勤務先・就労時間・就労日数等、（２）～（４）では出産日や傷病名・治療見込み期間等、（５）では災害の程度・復旧見込期間等、（6）以降については具体的な状況等）。なお、具体的な状況を確認するために、別途教育・保育給付認定申請において就労証明書類等の提出が必要となります。

４　こども園への入園については、次のようにご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 保育の実施を必要とする基準に該当しないため、入園が認められない場合
- 希望者が多数いるため、希望するこども園へ入園できない場合
- 保育の実施を必要とする基準の該当事由により、保育の実施時間の希望に添えない場合

保育の実施を必要とする基準

２号及び３号認定を受けこども園へ入園できる児童は、その児童の保護者（両親や両親にかわって児童を養育している者を含む）のいずれもが、次のいずれかの事情に該当する場合で、かつ、保護者以外の同居の親族等も、その児童の保育をすることができないと認められる場合です。

（１）就労（家庭外・家庭内労働）… 保護者が１か月間において４８時間以上労働することを常態としている場合。
＊原則、１日４時間以上、かつ週３日以上の勤務常態での就労。
（２）妊娠（産前）・出産（産後）… 妊娠中であるか、出産後間がない場合。
（３）保護者の疾病・障害 … 疾病や負傷、精神もしくは身体に障害を有している場合。
（４）同居親族等の介護・看護 … 常時、介護または看護している場合（長期入院含む）。
（５）災害復旧 … 震災、風水害、火災、その他の災害復旧に当たっている場合。
（６）求職活動 … 年度当初に限り、求職活動を継続的に行っている場合。もしくは、入園児童の保護者が年度途中に離職し、求職活動を行う場合。
（７）就学・職業訓練 … 大学、高等専門学校、専修学校等への在学、または求職者の就職支援に関する職業訓練を受けている場合。
（８）虐待・ＤＶの危惧 … 子育てへの不安や負担から虐待が危惧される場合、または配偶者からの暴力（ドメステイック・バイオレンス）により保育を行うことが困難な場合。
（９）育児休業取得時の継続利用 … 保護者が育児休業を取得する時点で保育所等に入所している児童があり、継続して利用する必要があると認められる場合。